

第1学年 道徳授業プラン

指導者 西 廣 直 明

(1) 児童数 男子4名 女子5名 計9名

(2) 資料名とねらい 「あさがお」(1年 光村図書)【D-12自然愛護】

○児童作品による朝顔の観察日記を通して、優しい気持ちで動植物に接することについて考えさせ、身近な自然を大切にする実践意欲と態度を育てる。

(3) 授業の流れ

授業の流れ	子ども達に考えさせたいこと等
<p>1. 朝顔の世話を毎日やっていることを想起し、これまで何をしてきたか、今、どうなっているか、確認する。</p>	<p>○今、朝顔がどうなっているか振り返らせる。</p> <p>○これまでにどんなことをしてきたか、想起させる。</p>
<p>2. 教材文を読んで動植物の飼育について考える。</p>	<p>○この日記を書いた児童の気持ちに寄り添って考えさせ、この児童が大切に世話を続けてきたことをおさえる。</p> <p>■種をまいたとき■ ■つるが伸びた時■ ■花がさいた時■ ■種ができた■</p>
<p>3. 自分はどんな気持ちでお世話をしているかふりかえる。</p>	<p>◎中心発問 「みんなはどんな気持ちでお世話をしていますか。」 自分がどんな気持ちでお世話をしているか、また、お世話の結果、大きく元気に育った時、どんな気持ちになるかを確認する。</p>
<p>4. 朝顔さんにお手紙を書く。</p>	<p>○これからの朝顔の育ちに期待感を込めて、どんな気持ちでお世話をしたいか書く。</p>



授業の見どころ

児童同士の対話を通して…

【自己を見つめる】

普段の生活の中で動植物にどのように接しているか振り返る。

【自己の生き方について考える】

動植物に対して自分の思うように勝手に接するのではなく、大切にしたいと考える。